

令和6年度 教科研修会 I 社会科 授業の様子

単 元 名	世界の古代文明のおこり		
授 業 学 級	1年C組 (40名)	授 業 者	池田 遼
教 科 の 学 び	古代文明、文明の比較、共通点の発見、地理の学習を生かした歴史学習		

【本時の様子】

生徒たちは、四大文明以外に文明が発展していた地域はどこかを考えるために、四大文明が発展した共通点と過ごしやすさに着目して、教師が提示した資料や地図帳を用いて調べ、追究しました。

「ガンジス川周辺に文明が発展しただろう」と考えた生徒は、その理由として、大河があることや、農業が行われていることといった人々が住みやすい気候であることなど、資料や地図帳をもとにしながら、四大文明との共通点を根拠に自分の考えをまとめ、全体追究の場で自分の意見を発信しました。

「実際にはどこに文明があったのかな?」「ギリシャ・ローマ文明は教科書に載っているよ。でもその他にも絶対にあるよね!」「日本だってあるでしょ?縄文時代だって立派な古代文明だよ!」と授業後も議論している生徒の姿がありました。

次時は、実際にはどこで古代文明が発展していたのかを、資料を活用して調べていきます。古代文明について、これまでの学びを生かして自ら予測したことと、歴史の事実が結びつくことで、生徒には新たな問いが生まれるでしょう。そうして学びが連続し、深まっていくような授業展開を今後も考えていきたいです。



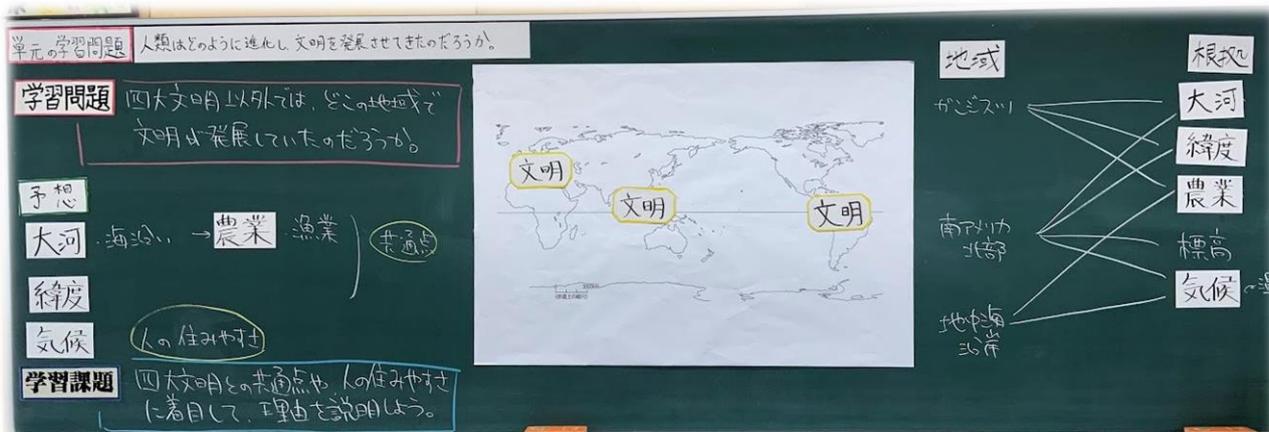
生徒に寄り添う教師
(個人追究)



4人組で議論する生徒
(グループ追究)



全体追究の様子



本時の板書